

暮らし

「笑顔の傘」で平和を発信 広島と長崎で8月開催

2010年07月07日

世界各地の子どもの笑顔を印刷した傘を広げることで平和や希望のメッセージを発信する「メリーアンブレラプロジェクト」が8月、広島市と長崎市で開催される。

アートディレクターの水谷孝次さん(59)が主催するイベント。これまでに水谷さんらが世界各国で災害に遭った子どもなど3万人以上の笑顔を撮影。スマトラ沖地震があったインドネシアのほか、上海万博や万博記念公園(大阪府吹田市)などでイベントを開催してきたが、被爆地では初めて。

ことしは原爆投下から65年の節目で「原爆を知らない世代にも平和の尊さを伝えたい」と開催を決めた。地元の学生らが参加する予定で、広島では8月1日に原爆ドーム前で、長崎は8月7日に平和祈念像前で100本の傘を広げる。

水谷さんは「子どもの笑顔のためにも核兵器はいらないというメッセージを伝えたい」と話している。(共同)